

## 4-5 朝上地域

### 4-5-1 朝上地域の概況

#### (1) 位置・人口

朝上地域は、本町の北部に位置し、町域の30.9%を占める最も大きな地域です。地域全域が都市計画区域外で、地域の西部は概ね鈴鹿国立公園となっています。

人口は9,066人で町全体の21.7%を占めます。人口は既存集落周辺に集積しています。人口密度は町全体より低くなっています。3区分年齢人口比率は町全体と比べ、生産年齢人口比率が高く(62.3%)、働く世代が多くなっています。

#### (2) 土地利用

平地部に広がる集落・農地、キャンプ場等のレクリエーション施設がある山麓部、山林が中心の鈴鹿国立公園が連なっています。また、朝明川沿い等のエリアでは、良好な自然や農村環境が形成されています。

表 4-4 朝上地域の概況

総面積	3,315.0ha	
全町における割合	30.9%	
市街化区域	—	
市街化調整区域	—	
都市計画区域外	3,315.0ha	
	菰野町	朝上地域
人口(人)(H31.4.1)	41,738	9,066
割合(%)	100.0	21.7
世帯数(世帯)	16,461	3,589
平均世帯人員(人/世帯)	2.5	2.5
人口密度(人/ha)	3.9	2.7
年少人口比率(%)	14.1	12.0
生産年齢人口比率(%)	60.3	62.3
老年人口比率(%)	25.6	25.7

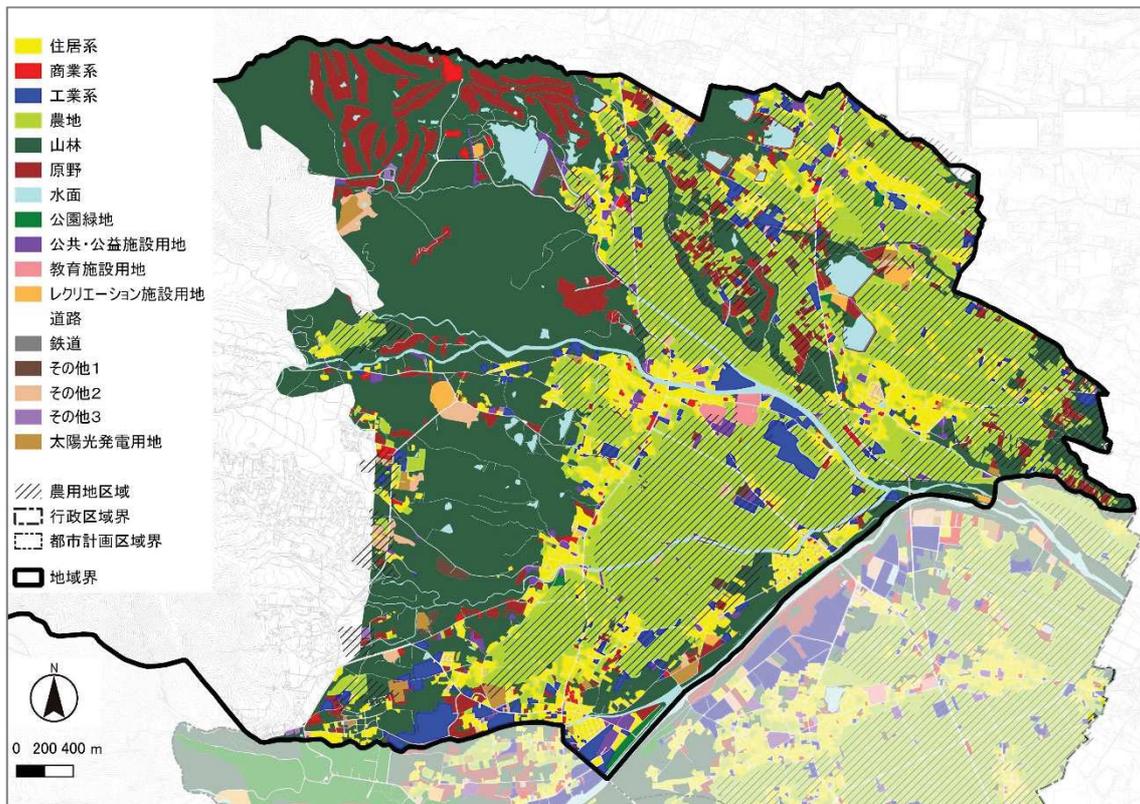


図 4-14 土地利用現況図 (平成 30 年)

資料：平成 30 年度都市計画基礎調査

### (3) 都市機能

小中学校、幼稚園・保育園、子育て支援センター、地区コミュニティセンターが地域の中心部に集積しています。

また、地域の公共交通はコミュニティバスが中心で、バス停からの公共交通利用圏域\*の人口カバー率は71.4%となっています。

※公共交通利用圏域：バス停・菰野町のりあいタクシー乗り場から半径300m

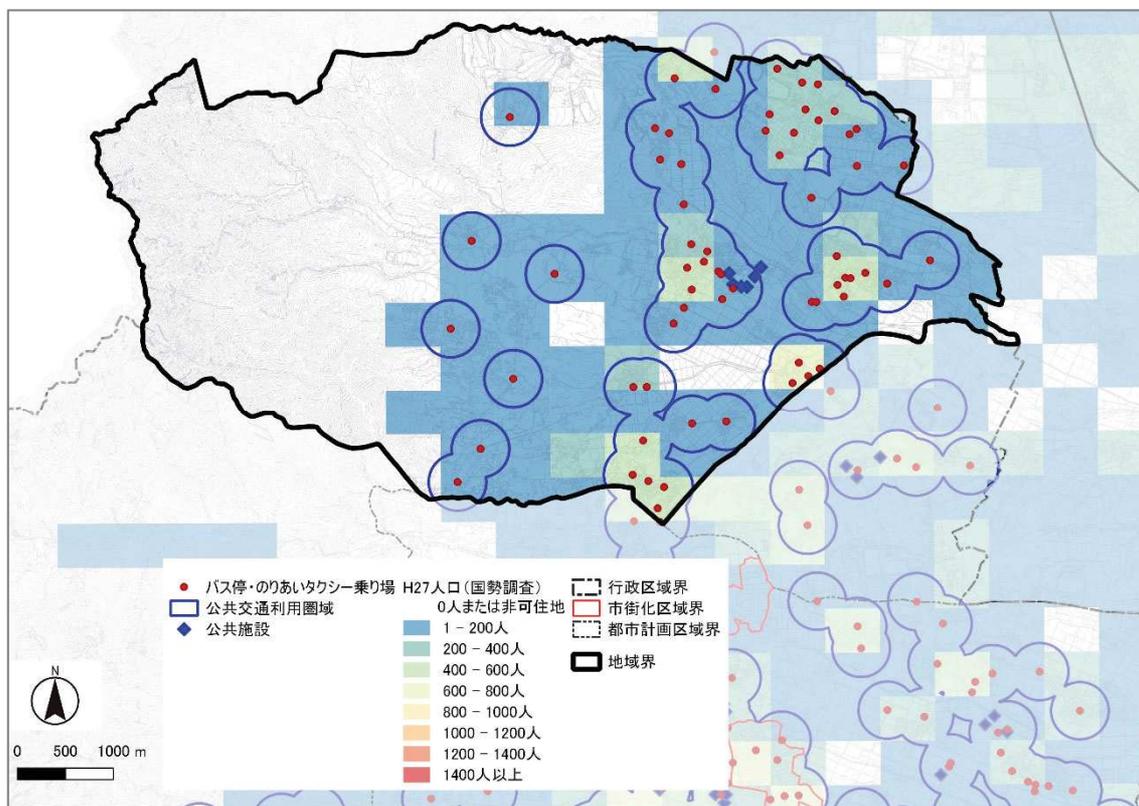


図 4-15 公共交通利用圏域

### (4) 道路

地域の中央を南北に縦断する国道 306 号や県道四日市菰野大安線が地域の骨格道路となっています。

地域内の道路は幅員 4～8 mの道路を中心に構成されており、集落内には 4 m未満の狭隘道路も存在しています。

### (5) 開発動向 (農地転用、新築動向、宅地開発)

農地転用や新築等の開発動向は、既存集落を中心に分布しており、幹線道路沿道での開発は少ない状況です。

### (6) 災害リスク等

地域西部の鈴鹿山脈一帯では土砂災害等のリスクが想定されており、山麓部沿いに活断層が存在します。また、朝明川沿い等では、浸水や液状化等の災害リスクを抱えているほか、浸水被害が懸念されるため池も集中しています。

## (7) 地域資源

鈴鹿国定公園の山林や朝明川・田光川の水辺には、豊かな自然環境が形成されており、尾高キャンプ場や八風キャンプ場等の自然を活かしたレクリエーション施設や四日市市、いなべ市、本町にまたがる北勢中央公園を有しています。また、農業用水の貯水池等を使う「ため池」が数多く分布しており、豊かな生態系の保存等の地域活動が行われています。田光にある湧水にかん養された湿地とその周辺には、国指定天然記念物である「田光のシデコブシ及び湿地植物群落」があります。

## (8) 町民ニーズ

町民アンケート調査では、「お住まいの地域全般」について約5割の人が「満足している」または「どちらかといえば満足している」と回答しています。

項目別では、「空気や川の水のきれいさ」や「騒音、振動などの静かさ」が、「満足している」または「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合が高くなっています。反対に「バスなどの公共交通の便について」や「商店の充実など、買い物の便のよさ」が、「不満である」または「どちらかといえば不満である」と回答した人の割合が高くなっています。

また、地域別ワークショップでは、「耕作放棄地の適切な管理・自然環境の保全」や「交通安全対策・移動環境の充実」等の意見が多く出されました。

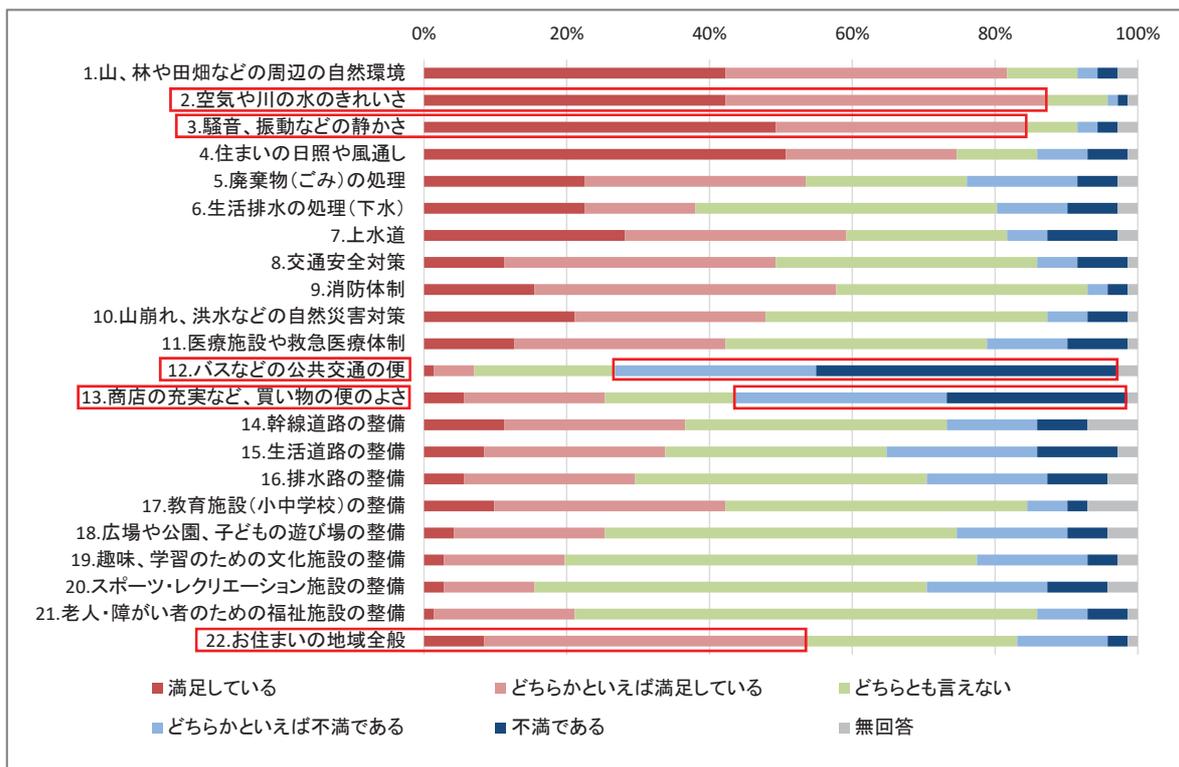


図 4-16 項目別地域の満足度（町民アンケート結果）

## 4-5-2 朝上地域のまちづくりの課題

- ◆朝上地区コミュニティセンター周辺には、学校等の公共施設が立地しており地域の拠点となっています。  
⇒ 今後も都市機能の集積を維持しながら、安全で快適な居住環境の形成が求められます。
- ◆地域全域が都市計画区域外のため、農用地に指定されていない区域などでは無秩序な宅地への転用や自然環境への影響が懸念されます。  
⇒ 地域の特性を踏まえ、自然や農地の保全とともに、計画的な宅地化や農村環境の維持・保全などが求められます。
- ◆3区分年齢人口比率は町全体と比べ生産年齢人口比率が高い状況にあり、働く世代が多くなっています。  
⇒ 働く世代の活力を生かし、地域の活力を生み出す産業施設の誘致などによる適正な土地利用の形成と合わせて、集落機能や地域コミュニティの維持・活性化が求められます。
- ◆集落内には狭隘道路が多く、歩行者や災害時の緊急車両の通行に支障をきたす可能性があります。  
⇒ 地域の交通利便性向上のため、主要幹線道路や生活幹線道路の道路機能の強化を促進するとともに、地域住民の理解を得ながら、狭隘道路の解消に努めることが求められます。
- ◆公共交通については、菰野町のりあいタクシーが運行される等、利便性向上に向けた取り組みが進められていますが、町民アンケートでは、「バスなどの公共交通の便について」の満足度が低くなっています。  
⇒ 高齢化や環境負荷に対応するため、近鉄菰野駅や菰野町役場本庁、商業機能の集積している地域などへの公共交通によるアクセス手段の確保が求められます。
- ◆地域の東部から西部にかけて平地から丘陵地、山地が連なる起伏のある地形を成しており、鈴鹿国定公園や地域を流れる朝明川の他、国指定天然記念物である「田光のシデコブシ及び湿地植物群落」、地域内に分布するため池等の豊かな自然環境が残されています。  
⇒ 地域に残る豊かな自然を地域資源として保全・活用することが求められます。
- ◆朝上地域内には、四日市市、いなべ市、本町にまたがる北勢中央公園がありますが、町民アンケートでは、「スポーツ・レクリエーション施設の整備」の満足度が低くなっています。また、「広場や公園、子どもの遊び場」についても満足度が低くなっています。  
⇒ 北勢中央公園の機能強化や、地域住民との協力のもと、身近な公園・広場の整備が求められます。
- ◆地域西部の鈴鹿山脈一帯の土砂災害、地域東部の朝明川沿いの浸水や液状化、震災時の危険性が指摘されるため池等の災害リスクを抱えています。  
⇒ 災害時における地域住民等の安全確保のため、エリアごとに異なる災害リスクに対応した防災対策を推進することが求められます。また、森林や農地の有する多面的機能を踏まえ、適正な維持・管理のもとで、保全・活用が求められます。

### 4-5-3 朝上地域のまちづくり方針

#### (1) まちづくりの目標

#### 自然環境と人が共生する地域づくり

鈴鹿山脈の山林・山麓や平地部に広がる農地等の豊かな自然環境の保全と、地域拠点としての活性化を図り、自然環境と多世代の人が共生する地域づくりを目指します。

#### (2) まちづくりの方向性

##### ■地域のくらし拠点の整備

朝上地区コミュニティセンター周辺においては、町北部におけるくらしの拠点として、安全で快適な居住環境の維持・向上を目指します。

##### ■産業拠点の形成

田光・杉谷山麓部については、産業拠点として、周辺の自然環境、景観等に配慮した産業系土地利用の誘導を図ります。

##### ■既存集落の定住促進

既存集落については、道路・公園等の基盤整備による定住促進と、集落機能の維持・活性化と地域コミュニティの維持を目指します。

また、集落地周辺で宅地開発等が進行している箇所においては、適正な土地利用を推進し、良好な居住環境の形成を目指します。

##### ■地域資源の保全・活用

鈴鹿山脈に広がる森林や平地部に広がる田園、田光川・朝明川等、地域に広がる自然環境の保全を目指します。

また、東海自然歩道、八風キャンプ場や尾高キャンプ場等の地域資源については、観光資源等への活用を目指します。

### (3) まちづくりの方針

#### ①土地利用の方針

##### ○朝上地区コミュニティセンター周辺

- ・ 学校等の公共施設が集積する町北部の拠点となる朝上地区コミュニティセンター周辺は、安全で快適な居住環境を維持・継続するため適正な土地利用の誘導を促進します。

##### ○田光・杉谷山麓部

- ・ 田光・杉谷山麓部の産業拠点については、周辺の自然環境や居住環境、景観などと調和した産業系の土地利用を促進し、地域産業の活性化を目指します。

##### ○山林・山麓部

- ・ 山林・山麓部の自然林等の自然環境の保全に努めます。
- ・ 八風キャンプ場、尾高キャンプ場、福王神社等の観光・レクリエーション施設については、施設の機能強化、アクセス性向上や景観整備を図り、地域住民及び観光客等の交流の場として活用に努めます。
- ・ 山地災害の防止、水源のかん養、地球温暖化の防止等の公益的機能のほか、生物多様性、林産物の供給等の多面的機能を有している森林については、町民や来訪者の安全確保に向け、適正な維持・管理を促進します。

##### ○農地・集落

- ・ ほ場整備された優良な農地の保全と農業振興に努めます。
- ・ 既存集落については、空家対策等を含め、田園環境と調和した良好な住環境の形成を促進します。

##### ○土地利用の規制・誘導の方針

- ・ 幹線道路沿道等については、商業系、工業系への市街化動向が見られることから、地域住民との連携・合意形成のもとで、都市計画区域への編入、準都市計画区域の指定、または条例等による規制・誘導等、適正な土地利用に努めます。

#### ②生活環境の充実方針

- ・ 上水道施設の機能維持と下水道事業等の整備を推進することで、生活環境の維持・向上に努めます。

#### ③交通施設の整備方針

##### ○主要幹線道路（広域・地域幹線道路）

- ・ 国道 306 号や県道四日市菰野大安線等の主要な幹線道路については、歩道整備や幅員確保等による道路機能の強化、渋滞対策等を県に要望します。

##### ○生活幹線道路

- ・ 県道田光梅戸井停車場線等の生活幹線道路については、集落地の安全性の確保等のため、歩道整備等の促進を県に要望します。
- ・ 山地部へつなぐ町道福王線、町道江平切畑線、町道八風線等については、国道 306 号等とのネットワークの整備に努めます。

##### ○生活道路

- ・ 集落地内の狭隘道路については、集落地の安全性の確保や通学路の安全対策等として拡幅整備等を促進し、安全な生活道路の確保に努めます。

##### ○公共交通

- ・ 近鉄菰野駅、公共施設及び商業機能の集積する地域等と連絡するコミュニティバスや菰野町のりあいタクシー等により、公共交通の充実に努めます。

#### ④田園環境の保全方針

##### ○公園の適切な配置と緑化の推進

- ・ 四日市市、いなべ市、本町にまたがる北勢中央公園は、町民の憩いの場・レクリエーション拠点として、整備促進を県に要望します。
- ・ 公園・広場については、地域住民と協力し、安全で安心して遊べる子どもの遊び場や地域住民の憩いの場となる身近な公園・緑地の整備に努めます。
- ・ 朝明川・田光川等の河川については、自然と親しめる水辺空間の整備を推進するとともに、東海自然歩道に連絡する水と緑のネットワークづくりに努めます。

##### ○良好な景観の形成

- ・ 鈴鹿山脈の雄大な自然や平地部の田園風景、地域のため池や朝明川・田光川の流れ、丘陵地等は、町の豊かな自然を感じる景観を構成する要素であり、自然景観を形成する緑地として保全・再生に努めます。
- ・ 幹線道路沿道については、緑化・修景を推進することで、良好な沿道景観の形成を促進します。

#### ⑤防災まちづくりの方針

- ・ 山林・山麓部においては、急斜面等における安全性の向上のため、砂防事業や急傾斜地崩壊対策事業による整備等の防災対策の実施を県に要望します。また、森林の有する山地災害の防止、水源のかん養、地球温暖化の防止等の多面的機能を踏まえ、適正な維持・管理に努めます。
- ・ 急傾斜地崩壊危険区域の指定箇所については、災害防止策の実施を県に要望します。特に小島区内指定区域においては、対策工事の実施を県に要望します。
- ・ 避難場所や避難路の整備等、防災対策を推進します。特に、避難路については、整備が必要な箇所の整理、事業実施の検討を進め、必要な路線に対して、計画的かつ優先的な整備の実施に努めます。
- ・ 既存集落においては、狭隘道路の拡幅整備等の促進、道路側溝や用排水路の維持管理及び安全対策、既存公園の活用・再整備、空地の利用による空間確保等により、災害時の安全性向上に努めます。
- ・ 朝明川・田光川等地域内を流れる河川については、水害対策を図る等安全性の向上を働きかけるとともに、県管理河川での浚渫工事の実施を県に要望します。

#### ⑥観光まちづくりの方針

- ・ 鈴鹿国定公園等の自然や東海自然歩道、八風キャンプ場や尾高キャンプ場等、地域にある寺社や伝統文化等の多様な地域資源を活用するため、これらを結ぶ周遊ルートの形成や、散策ルートの整備等、観光拠点相互の魅力向上に努めます。

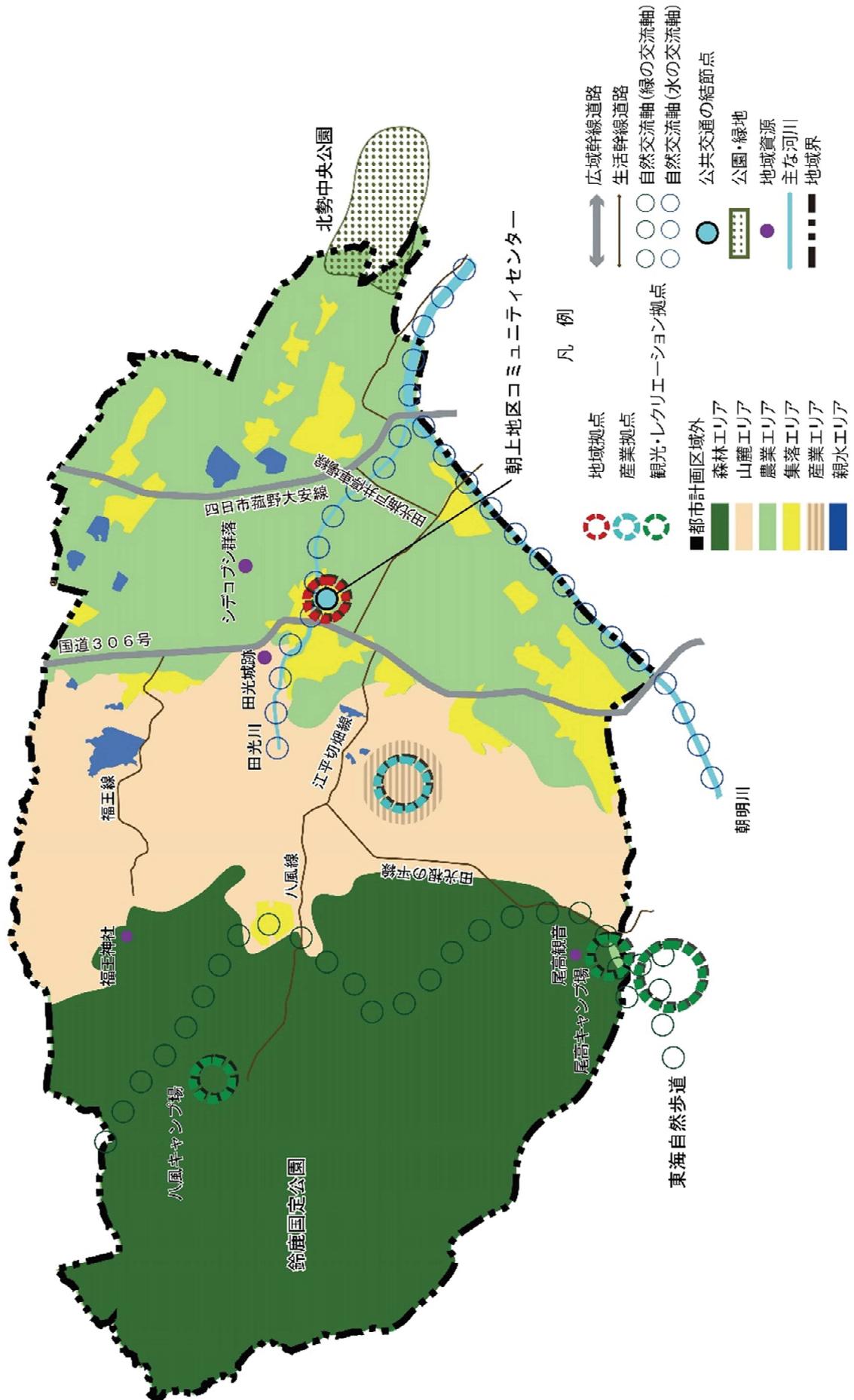


図 4-17 朝上地域の方針図